授業ガイド

Unit 1 ・ なまえ

Introducing yourself · 第1章

初対面のあいさつと自己紹介ができるようになります。「はじめまして。たなか です」「しごと は なん ですか」「かいしゃいん です」のような会話です。文法は2つあります。「A は B です」の形と、文の終わりにつく「か」です。動詞をまだ扱わないので、この日に言えるのは名前・職業・出身だけです。

1　このユニットの中身

	文法	このパートでやること	分
PART 1	X は Y です 名詞述語文	自分と人の職業の言い方を学びます。	16
PART 2	～ですか 終助詞「か」による疑問文	「～ですか」で質問する形を学びます。	14

PART 1 X は Y です

16分

Saying what something is

文法用語 名詞述語文。「は」は係助詞（主題を示す）、「です」は丁寧体の断定。

自分と人の職業の言い方を学びます。

「わたし は かいしゃいん です」のように、「A は B です」で何かを言い表す形を扱います。文型は1つだけなので、生徒さんは職業の単語を入れ替えるだけで文を作れます。時間がかかるのは助詞「は」の読み方です。書いてあるのは「は」なのに「わ」と読みます。日本人は意識せずに読み分けていますが、生徒さんには規則として示す必要があります。もう1つ、日本人には見えにくいのが「です」の役目です。「です」は文を終わらせると同時に、丁寧さを出しています。英語では be動詞が文を組み立てるだけで、丁寧さとは無関係なので、「です」が2つの仕事をしていることは伝えておく必要があります。

このパートで、生徒さんができるようになること

- ☐ 自分の職業を言える（わたし は かいしゃいん です）
- ☐ 人の職業を言える（たなかさん は エンジニア です）
- ☐ 国を言える。助詞「は」の読み方がわかる

生徒さんの画面: Say what you do: your job, or what you study / Say what someone else does (〜 は 〜 です) / Say where you work, and what country you are from

先生が足すこと

生徒さんの職業を日本語で何と言うか、レッスンの前に決めておきます。スライドには かいしゃいん・エンジニア・いしゃ の3語がありますが、該当するものがなければ、先生が追加します。ここで決めた1語を、このあとの練習でずっと使います。毎回ちがう職業名を出すと、生徒さんは単語を覚えることに気を取られて、文型のほうが頭に残りません。出身の国名も同じです。生徒さんの国を1つ決めておけば、「わたし は カナダじん です」のように自分のことで文が作れます。

よくある間違いと、その場の言い方

× 「は」を **ha** と読む

「は」は助詞です。日本語の書き方は戦後に整理され、原則として発音どおりに書くことになりました（現代仮名遣い・昭和61年内閣告示第1号）。ただし告示は「表記の慣習を尊重して」特例を設けていて、助詞の「を」「は」「へ」の3つは、旧来の書き方のまま残されています。そのため書き方と発音がずれます。ずれるのは助詞のときだけで、単語の中の「は」（はな・はは）は ha のままです。生徒さんには「この3つだけ」と範囲を示すと、覚える負担になりません。

英語で Only the topic marker は is read “wa”. It is written the old way, from a time when it was said that way. Inside a word — はな, はは — it is still “ha”. Just three particles do this: は, へ, を.

× 「わたしは」を毎回つける

英語では主語を省略できません。その習慣がそのまま出るので、文のたびに「わたしは」をつけてしまいます。日本語は、話題が変わらないかぎり主語をくり返しません。一度「わたし は かいしゃいん です」と言ったら、次は「にほんじん です」だけで通じます。文法として誤りではないので、その場で止める必要はありません。つけなくてよいと1度伝えておけば、自然に減っていきます。

英語で You can drop わたしは after the first time. Japanese leaves out what both of us already know. It is not wrong to keep saying it — it just sounds heavy.

× 「です」を落とす

英語の be動詞は I'm a teacher のように短く弱く発音されるので、文の中で目立ちません。同じ感覚で「です」も落ちます。日本語では「です」が文を終わらせ、同時に丁寧さを出しています。落とすと、意味は通じても、ぶっきらぼうに聞こえます。生徒さんが仕事で使う相手を思い浮かべてもらうと、必要さが伝わります。

英語で Keep です at the end. It closes the sentence and makes it polite. Without it, you still make sense, but it sounds blunt at work.

音読

はじめまして Ms. Suzuki's first day at the company. She meets Mr. Tanaka.

① 先生が2役を通して読みます ② 役を分けて読みます ③ 役を交代します ④ たなか役を、生徒さん自身の職業に置き換えて読みます

つぎへ進む目安　しごと は なん ですか。
shigoto wa nan desu ka
「です」まで言えていれば、次に進んで問題ありません。

PART 2　～ですか　14分

Asking questions

文法用語　終助詞「か」による疑問文。語順を変えずに文末で疑問を示す。

「～ですか」で質問する形を学びます。

「しごと は なん ですか」のように、文の終わりに「か」がついて質問になる形を扱います。文の形は変わらず、終わりに「か」を足すだけで質問になります。英語のように語順が動かないので、文法としては軽いパートです。時間は、生徒さんが自分から質問する練習に使えます。答えるだけで終わると、聞かれたことに応じる力だけがついて、Unit 2 以降も受け身のまま進みます。先生が質問し、生徒さんが答え、そのあと生徒さんから先生に同じことを聞いてもらう。この往復を1つの型にしておくと、以降のユニットでもそのまま使えます。

このパートで、生徒さんができるようになること

- ☐ 文の終わりに「か」をつけて質問できる
- ☐ 「しごと は なん ですか」で職業を聞ける
- ☐ 名前を聞ける

生徒さんの画面: Turn any sentence into a question (～ ですか) / Ask what something is (なん ですか) / Ask someone their name and what they do

先生が足すこと

質問は、先生からと生徒さんからの両方向でやります。「しごと は なん ですか」「なまえ は なん ですか」「にほんじん ですか」の3つを、生徒さんが自分から言えるようにします。自分から聞けると、レッスンの外でも会話を始められます。生徒さんが答えに詰まったときは、先生が答えの型を1つ言ってみせると再開できます。「かいしゃいん です」と聞けば、生徒さんは同じ形で返せます。

よくある間違いと、その場の言い方

× 英語の語順で尋ねようとする（**Are you** ～ の順）

英語では、疑問文を作るときに be動詞や助動詞が主語の前に出ます。その動きを日本語にも持ち込んで、語順を入れ替えようとします。日本語は文がまったく動きません。「がくせい です」の最後に「か」を足せば「がくせい ですか」になります。平叙文と疑問文を並べて見せると、違いが「か」だけだと目で分かります。

英語で　In Japanese the sentence stays exactly as it is. You only add か at the end — nothing moves. がくせい です → がくせい ですか.

× 語尾を上げるだけで「か」を言わない

英語は上がり調子だけで質問になるので、「か」がなくても通じると感じます。実際、日本語でも親しい相手には「がくせい？」と上がり調子だけで尋ねます。ただしそれはくだけた言い方で、仕事の相手には向きません。「です・ます」で話しているあいだは「か」が要る、と場面で区切ると分かりやすくなります。

英語で　You do not need to raise your voice — か already makes it a question. Dropping か is casual. With です・ます, keep the か.

× 「なん」と「なに」を混ぜる

辞書ではどちらも同じ語として載っているので、使い分ける基準が見えません。規則は後ろの音で決まります。t・d・n の音で始まる語が続くとき（です・と・の）は「なん」、それ以外は「なに」です。初級では「なん ですか」「なに を」の2つを形で覚えてもらえば足ります。理由を尋ねられたら、この規則をそのまま伝えられます。

英語で　When the next word starts with t, d or n — です, と, の — it is なん. Otherwise it is なに: なに を, なに が. The meaning does not change.

音読

しごと は なん ですか At a friend's party, Ms. Suzuki meets Haruto.

① 質問の行だけ拾って読みます ② 通して読みます ③ 役を交代します ④ 設問3つに、本文を見ながら口で答えます

つぎへ進む目安　なまえ は なん ですか。
namae wa nan desu ka
「か」まで聞こえたら、次に進んで問題ありません。

2　ふくしゅうと会話

ふくしゅう	ふくしゅうのパートで、翻訳の問題を一度やってみます。できたことチェックは、生徒さんが自分でつけます。
会話	Your own introduction Introduce yourself to your tutor: your name, your job, and where you are from. Then ask your tutor the same. ① 先生が自己紹介を1回やってみせます ② 生徒さんが名前・職業・出身を言います ③ 生徒さんから先生に、名前と職業を尋ねてもらいます

3　宿題と、次回の頭

渡すもの	宿題（24語・穴うめ6・作文6）と単語シート。解答も一緒に渡して、やってから答え合わせをしてもらう。
言うこと	「このユニットの日本語を、声に出して読んでください。5〜10分でいいです」と、音読を宿題として言い切る。
次回の頭	Unit 1 の小テストから始める。まちがえたところだけ、その場で口に出して直す。